エスラックス静注 1%

2.3 品質に関する概括資料

日本オルガノン (株)

注:「2.3.S 原薬」及び「2.3.P 製剤」の項をまとめて示した.

2.3.S 原薬

一般名(JAN): ロクロニウム臭化物(rocuronium bromide)

化学名(JAN):

(+)-(17β-acetoxy-3α-hydroxy-2β-morpholino-5α-androstan-16β-yl)-1-allyl-1-pyrrolidinium bromide

CAS 登録番号: 119302-91-9

化学構造:

分子式: C₃₂H₅₃BrN₂O₄

分子量:609.68

性状:白色~帯黄白色の粉末

溶解性:本品は水,アセトニトリル,*N,N-*ジメチルホルムアミド,メタノール又はエタノール(99.5)に極めて溶けやすい.

pKa: 7.5 (0.15 mol/L 塩化カリウム溶液中, 25℃)

1-オクタノール - 水の分配係数 (log P): 0.1 (25℃)

吸湿性:吸湿性を示す.

保存条件	水分含量(%)			
開始時	3.8			
25℃, 60%RH, 1 箇月	7.2			
25℃,75%RH,1 箇月	10.4			

安定性:

保存条件・期間		保存形態	結果
長期保存試験	暗所, 36 箇月	ポリエチレン袋(2 重)/	顕著な変化は認められなかった.
		高密度ポリエチレン容器	
加速試験	暗所,6箇月	ポリエチレン袋(2重)/	類縁物質の増加,水分の増加,含量の低下
		高密度ポリエチレン容器	が認められたが、規格の範囲内であった.
光安定性試験	近紫外線蛍光	曝光:ポリエチレン袋(2重)	曝光により,類縁物質の増加,含量の低下
	(200 W·h/m²以上)	遮光:ポリエチレン袋(2重)	が認められた.
	+	+アルミ箔	
	白色蛍光灯		
	(120 万 lx·hr 以上)		

2.3.P 製剤

剤形, 性状等:

注射用液剤 (バイアル)

無色澄明の液

pH 約4

組成(1バイアル当たり):

製品	有効成分		添加剤
エスラックス静注 25 mg/2.5 mL	ロクロニウム臭化物	25.0 mg	酢酸ナトリウム水和物
(2.5 mL 中)			塩化ナトリウム
			pH 調節剤
			注射用水
エスラックス静注 50 mg/5.0 mL	ロクロニウム臭化物	50.0 mg	酢酸ナトリウム水和物
(5.0 mL 中)			塩化ナトリウム
			pH 調節剤
			注射用水

容器の材質:

無色透明のガラスバイアル

灰色のブロモブチルゴムのゴム栓

ポリプロピレン製のフリップオフボタン (暗青色又は明灰色) が付随したアルミ製キャップ

暗青色:エスラックス静注 25 mg/2.5 mL 明灰色:エスラックス静注 50 mg/5.0 mL

安定性:

製剤	試験区分	保存条件	保存形態	保存期間	結果
	長期保存試験	5℃ 暗所	ガラス バイアル (直立及び倒立)	36 箇月	類縁物質の増加及び含量の減少が認められたが、規格の範囲内であった.
25 mg/ 2.5 mL	加速試験	25℃ 60%RH 暗所	ガラス バイアル (直立及び倒立)	6 箇月	類縁物質の増加及び含量の減少が認められたが、規格の範囲内であった.
	苛酷試験 (光)	近紫外線 (200 W·h/m²) + 白色蛍光 (120 万 lx·hr)	曝光: ガラスバイアル 遮光: ガラスバイアル をアルミ箔で覆う	_	曝光試料に類縁物質の増加が認められたが、規格の範囲内であった. その他の項目については、曝光及び遮 光試料の差に顕著な違いは認められなかった.

含量	試験区分	保存条件	保存形態	保存期間	結果
	長期保存	5℃ (8℃) *	ガラスバイアル	36 箇月	類縁物質の増加及び含量の減少が認め
	試験	暗所	(直立及び倒立)		られたが、規格の範囲内であった.
50 mg/	加速	25℃	ガラスバイアル	6 箇月	類縁物質の増加及び含量の減少が認め
5.0 mL	試験	暗所	(直立及び倒立)		られたが,規格の範囲内であった.
	苛酷試験	キセノンランプ	ガラスバイアル	_	曝光した試料について、開始時と比較
	(光)	(80 klx, 24 時間)			して顕著な変化は認められなかった.
	苛酷試験	室内散光(蛍光灯)	ガラスバイアル	_	曝光した試料について、開始時と比較
	(光)	(1000 lx, 1200 時間)			して顕著な変化は認められなかった.

^{*8℃}で24箇月保存した後,24箇月目以降は5℃で保存した.